

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 8 - 9

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	国営造成施設管理体制整備促進事業					
評価者	担当課名	産業振興課		担当係名	水利施設係	
	管理職	職名	課長	作成者	係長	
		氏名	石井弘道		氏名	永井栄次
事業の概要	平成21年度、雄武ダム供用開始に伴う施設管理委託に先立ち、早期に操作・管理等の技術の習得を図る。				全体計画 / 期間限定複数年度 (平成 20 年度 ~ 20 年度)	
					国・道支出金	13,048 千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	2,367 千円
				事業費計	15,415 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第5期総合計画(前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	A
事業の位置付け	政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～				
	基本施策	1 農業の振興				
	単位施策	1 土地基盤の充実				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	13,049 千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	2,716 千円	千円	千円	千円	千円
	合計	15765 千円	千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	操作員・整備員	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	ダム施設の操作・管理	指標(指標計算式/解説)		目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ダム施設の操作・管理の技術習得	①	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	ダム管理体制の確立	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
①操作運転	各施設の設計内容・施工経過等の確認、操作手法の確認。				
②点検整備等	各施設点検内容確認、巡回点検等。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	施設管理委託に先立ち、早期に操作・管理等の技術習得が必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	ダム管理体制の確立に向け、有効と判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	コスト削減に努めている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

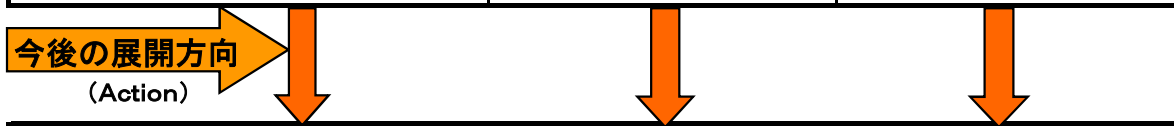
(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	—
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
施設管理委託までの技術習得として、計画通り事業が進められた。平成20年度にて事業完了。		



終了		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 8 - 10

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	道営かんがい排水事業(国営付帯)雄武中央地区					
評価者	担当課名	産業振興課	担当係名	水利施設係		
	管理職	職名	課長	作成者	職名	
		氏名	石井弘道		氏名	永井栄次
事業の概要	当地区は、牧草を基幹作物とする酪農専業地帯であり、保水性に乏しい重粘性土壌が広く分布した無水地帯である。かんがい期間中の降水量も少なく干ばつ被害が頻発し、営農を阻害している。畑かん施設の導入により、粗飼料の高位安定及び品質の向上を図るとともに、営農労力を節減し、粗飼料生産の向上により酪農経営の安定を図る。			全体計画 / 期間限定複数年度 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 68,300 千円 その他 45,000 千円 一般財源 107,200 千円 事業費計 220,500 千円		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (道営)			
第5期総合計画(前期)	<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業	<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	A		
事業の位置付け	政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～				
	基本施策	1 農業の振興				
	単位施策	1 土地基盤の充実				
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	4,200 千円	20,700 千円	18,700 千円	13,500 千円	9,900 千円
	その他財源	4,240 千円	20,750 千円	18,750 千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	6,831 千円	33,250 千円	30,050 千円	20,250 千円	14,850 千円
	合計	15271 千円	74700 千円	67500 千円	33750 千円	24750 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道営かんがい排水事業受益者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	干ばつ被害により、営農を阻害	管路整備延長				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	畑かん施設の導入により、粗飼料の高位安定及び品質の向上を目指す。	① L=33.53km/全体整備延長	指標(指標計算式/解説)			目標年度及び実績値
			目標年度	平成24年度		
			目標値	33.53 km		
			実績値	0		
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	粗飼料生産の向上により、酪農経営の安定を図る。	②	達成度	0.0 %		
			目標年度			
			目標値			
			実績値			
達成度 %						
内容(どのような手段で何を行ったか)						
調査設計	沢木地区 L=11.5km					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	国営附帯施設として、末端の畑かん施設を整備し、粗飼料の高位安定及び品質の向上を図るために必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	粗飼料生産の向上により、酪農経営の安定を目指すうえで有効である。(今年度については、調査設計のみのため、目標値には反映されない。)
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	事業主体については北海道であり、事業を進めるにあたり都度協議をし、地上権設定をしないことにより、測量試験費の軽減を図るなどの工夫をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

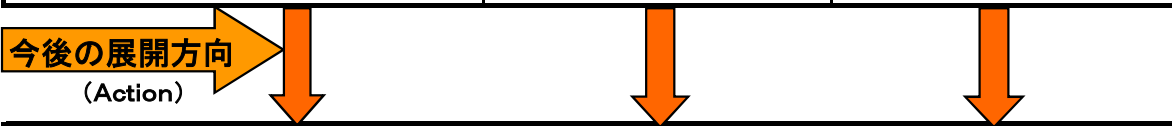
(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	道営かんがい排水事業受益者全体が対象。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
総合計画事業費としては、予定を達成していない(道予算に左右されるため)が、調査設計の進捗状況は順調である。		



継続／現状維持		
目標完了年度(平成24年度)まで現状維持が適当である。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 8 - 11

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	枝幸南部地区国営総合開発事業償還負担金					
評価者	担当課名	産業振興課	担当係名	水利施設係		
	管理職	職名	課長	作成者	職名	
		氏名	石井弘道		氏名	永井栄次
事業の概要	平成11年度に竣工した枝幸南部地区国営総合農地開発事業の地元負担金の償還。				全体計画 / 期間限定複数年度 (平成 20 年度 ~ 24 年度)	
					国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	24,210 千円
					事業費計	24,210 千円
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (道営)			
第5期総合計画(前期)	<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業	<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	A		
事業の位置付け	政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～				
	基本施策	1 農業の振興				
	単位施策	1 土地基盤の充実				
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	4,254 千円	4,842 千円	4,842 千円	4,842 千円	4,842 千円
	雄武町負担額 (一般財源)	589 千円	千円	千円	千円	千円
	合計	4843 千円	4842 千円	4842 千円	4842 千円	4842 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	枝幸南部地区受益者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	一部滞納あり	負担金の納入				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	100%の納入	① 4,842千円	指標(指標計算式/解説)			目標年度 平成20年度
						目標値 4,842 千円
						実績値 4,254 千円
						達成度 87.9 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	償還負担金の完納	②				目標年度
						目標値
						実績値
						達成度 %
内容(どのような手段で何を行ったか)						
償還負担金の請求事務	・納付書の発行、滞納者への納入督促					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	事業償還負担金のため、必要
	<input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	87.9%の達成度であり、100%の納入に向け努力する
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input checked="" type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	-
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

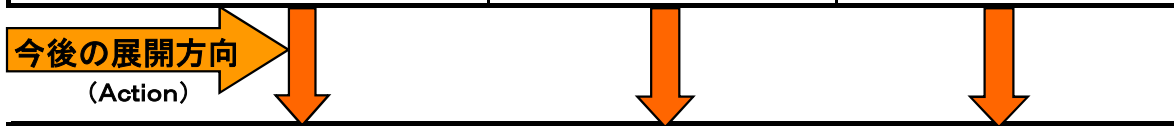
(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	事業償還金負担者(受益者)が既定のため公平である
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
滞納者が固定している		



継続／現状維持	継続／現状維持	
納入に向けた督促方法の検討が必要	滞納整理に向け鋭意努めること。	

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 8 - 12

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	雄武中央地区土地改良調査事業					
評価者	担当課名		産業振興課	担当係名		水利施設係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	石井弘道		氏名	永井栄次
事業の概要	国営雄武中央地区の肥培かんがいにおいて、良質の液状きゅう肥としてのスラリー生産、それによる肥培効果・労力節減効果を高めることを主眼とし、末端施設計画を立案するにあたり、受益農家の実態及び要望を調査する。				全体計画 / 期間限定複数年度 (平成 20 年度 ~ 20 年度)	
事業費					国・道支出金	3,000 千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	千円
					事業費計	3,000 千円
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	A
事業の位置付け	政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～				
	基本施策	1 農業の振興				
	単位施策	1 土地基盤の充実				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	4,914 千円	4,000 千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	788 千円	千円	千円	千円	千円
	合計	5702 千円	4000 千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	国営かんがい排水事業受益者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	良質の液状きゅう肥が必要	指標(指標計算式/解説)		目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	良質のスラリーの生産	①	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	肥培かんがい整備による安定した農業経営	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
調査	受益農家の実態及び調査(受益地の流動・所有状況等)				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	肥培かんがいにおいて、良質な液状きゅう肥としてのスラリーの生産を行い、肥培効果・労力節減効果を高めるべく、末端施設の計画立案に必要
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	当該事業の実施により、受益農家の実態・要望がより末端施設計画に反映される
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	十分に削減措置済みである
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	国営かんがい排水事業受益者全体が対象
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
適切な末端施設計画立案に不可欠であり、計画どおり事業を進めることが適当である		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
国営かんがい排水事業完了年(平成21年度)までは、現状維持が適当である		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 8 - 13

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	営農用水施設整備事業					
評価者	担当課名	産業振興課		担当係名	水利施設係	
	管理職	職名	課長	作成者	係長	
		氏名	石井弘道		氏名	永井栄次
事業の概要	営農用水施設(音稲府浄水場、上沢木浄水場、共栄中雄武浄水場)の施設整備を行い、安定かつ良質な水の供給を図る。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 21 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 7,543 千円 事業費計 7,543 千円	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託		<input type="checkbox"/> その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		登録事業	<input checked="" type="checkbox"/> 非登録事業	優先度		
事業の位置付け	政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～				
	基本施策	1 農業の振興				
	単位施策	1 土地基盤の充実				
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	2,043 千円	5,500 千円	千円	千円	千円
	合計	2043 千円	5500 千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	音稲府地区・上沢木地区・共栄中雄武地区営農用水受益者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	施設の老朽化等による浄水・配水機能の低下	指標(指標計算式/解説)		目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	機器点検を行い、かつ不良機器については取り替え等を行い、適切な維持管理を目指す	①	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安定かつ良質な水の供給を図る	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
①機器点検委託	音稲府浄水場:各種ポンプ類等機械設備点検				
②機械整備工事	共栄中雄武浄水場:フラッシュミキサー・PAC注入ポンプ取り替え				
③管布設工事	上沢木浄水場:取水管布設工事				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	地区の安定かつ良質な水の供給を図るうえで必要である
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	安定した水の供給に向けた維持管理が可能となる
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	必要最小限の点検、機器取り替えを行っているため、十分に削減措置済みである
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

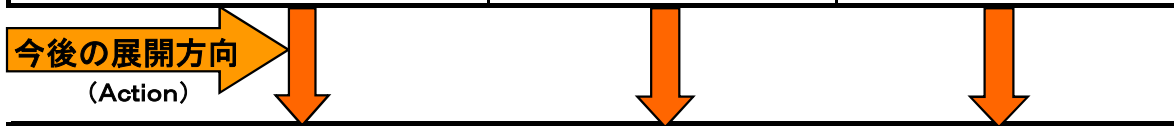
(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	音稲府地区・上沢木地区・共栄中雄武地区営農用水受益者全体が対象である
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
適切な維持管理を進める状態を確保することが出来た		



継続／現状維持	継続／現状維持	
安定した水の供給を行うため、今後も継続することが適当である		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--